

第5次富士宮市総合計画後期基本計画策定に向けた

# 高校生会議報告書



令和3年3月 富士宮市

# 第5次富士宮市総合計画後期基本計画策定に向けた 高校生会議 報告書

## 目 次

I	後期基本計画策定に向けた高校生会議 総括 -----	1
	1 開催概要 -----	1
	2 グループワークの進め方 -----	1
	3 グループ名・参加者 -----	1
II	グループワークのまとめ -----	2
	1 市の魅力と課題、住み続けたいと思える魅力 -----	2
	2 市の強みを生かした地域活性化 -----	6
III	参加者アンケート -----	10

# I 後期基本計画策定に向けた高校生会議 総括

## 1 開催概要

- 目的** 第5次富士宮市総合計画後期基本計画策定にあたり、若い世代の定住化意識や市の施策に対する意見・提案を知ることによって計画策定の基礎資料とします。併せて若い皆さんが今後の市政に参画意識を高めていただくことを目的とします。
- 反映方法** ワークショップの記録は市政に対する率直なご意見として、計画策定過程での基礎資料とします。
- 実施方法** 市内高等学校6校から各3名18名を3班に分け、ワークショップ形式で討議を行います。
- 第1回 令和3年3月13日(土)、第2回 3月20日(土) いずれも午後1時から3時
  - 実施会場 富士宮市役所会議室
  - 新型コロナウイルス感染症対策のため検温、マスク、消毒、ソーシャルディスタンスに留意します。

## 2 グループワークの進め方

### 第1日目

- 富士宮市の取組について
- 自己紹介、グループ名決定など
- グループワーク(1)  
「富士宮市の魅力と課題」
- グループワーク(2)  
「住み続けたいと思えるまちとは①」
- 全体発表、まとめ

### 第2日目

- グループワーク(3)  
「住み続けたいと思えるまちとは②」  
方向性、現状、アイデア出し
- グループワーク(4)  
「住み続けたいと思えるまちとは③」  
市の強みを生かした地域活性化と『いつまでも住み続けられる私たちのまち』に向けてのメッセージ(提言)をつくる
- 全体発表、企画戦略課長による講評
- 1分間スピーチ  
「高校生会議に参加して、25年後の自分」

## 3 グループ名・参加者

グループ名と理由	参加者 学校名・氏名
焼きそば ～富士宮といえば～	富士宮北高等学校 神谷 海翔 富士宮高等専修学校 土屋 智樹 星陵高等学校 勝又 理子 富士宮東高等学校 前迫 美羽 富士宮西高等学校 田中 祐来志 富岳館高等学校 佐野 心羽
ライス ～みんなごはん派～	富士宮東高等学校 干川 和希 富士宮北高等学校 田中 仁 富岳館高等学校 田中 颯一郎 富士宮高等専修学校 大津 綺愛 星陵高等学校 村田 悠起 富士宮西高等学校 望月 さくら
なまむぎ ～何となく食べ物で～	富士宮西高等学校 内藤 尚希 富岳館高等学校 藤田 朱莉 富士宮北高等学校 徳田 光輝 富士宮高等専修学校 齊藤 富美 星陵高等学校 金指 俊佑 富士宮東高等学校 齊藤 彩優花

## Ⅱ 各グループワークのまとめ

### (1) 市の魅力と課題、住みたいと思える魅力

ワークショップ1日目では「富士宮市の魅力と課題」を洗い出し、その中から「住みたいと思える魅力」を5つ程度選びました。また市の総合戦略の3つの視点「人口流出の抑制と就労の場の確保」「結婚、出産、子育ての希望の実現」「市の強みを生かした地域活性化」から掘り下げて検討したいテーマの一つを選び、次回につなげました。そのほか、個人でワークシート「わたしの25年計画」を作成し、市の計画を参考に人生設計を考えてもらいました。

住みたいと思える魅力	「市の魅力と課題」で出された主な意見のまとめ
グループ：焼きそば 1) イベント 2) 飲食 3) 観光 4) 富士山 5) 自然	富士宮市の「魅力」と感じられる点は、学校行事等の多さや富士山世界遺産センターでの学習、おまつり等の地域イベント、富士山そのものの魅力と構成資産、きれいな水や景色等の観光資源、自然を生かした施設や活動等が出されました。 一方「課題」としては、車が多いことに反して狭い道幅、交通網や交通手段、ホテルやスポーツ施設の不足などがありました。そのほか、将来の選択の幅が小さい、市内から通える大学が少ない等の課題も出されました。
グループ：ライス 1) 観光 2) 自然 3) 食品 4) 暮らしやすさ	住みたいと思える「魅力」では、住民の視点からの意見が多く出ました。世界遺産が身近にある、夏まつりが賑やか、富士山が自慢、キャンプが楽しい、焼きそばやニジマス、お好み焼きなどがおいしい、都会でも田舎でもなくちょうどいい、自然を生かしたまちづくり、畜産業や新しい産業等でした。 「課題」としては、地域格差、特に北部と街なかの暮らしやすさが指摘され、バスが少ない、お店が少ない等の意見がありました。
グループ：なまむぎ 1) 地域生活 2) 食 3) 外国 4) 景色 5) 観光・歴史	市の「魅力」、「課題」ともに生活者の視点の意見が多く出されました。 「魅力」では、生活が安定する、地域の人が優しい、食べ物がおいしい、富士山の天然水、富士山がどこからでも見られる、秋祭り、自然と人工物のバランスの良さ、外国人労働者や空手の交流があるといった意見がありました。 「課題」では、市の魚以外の知名度が低い、シャッターの閉まっている商店、道がデコボコしている、街路灯が少ない、富士宮駅から新幹線に乗りにくいなどの意見が出されています。
<p>★市の総合戦略の掘り下げて検討したいテーマは、全グループが                      「市の強みを生かした地域活性化」を選びました。</p>	

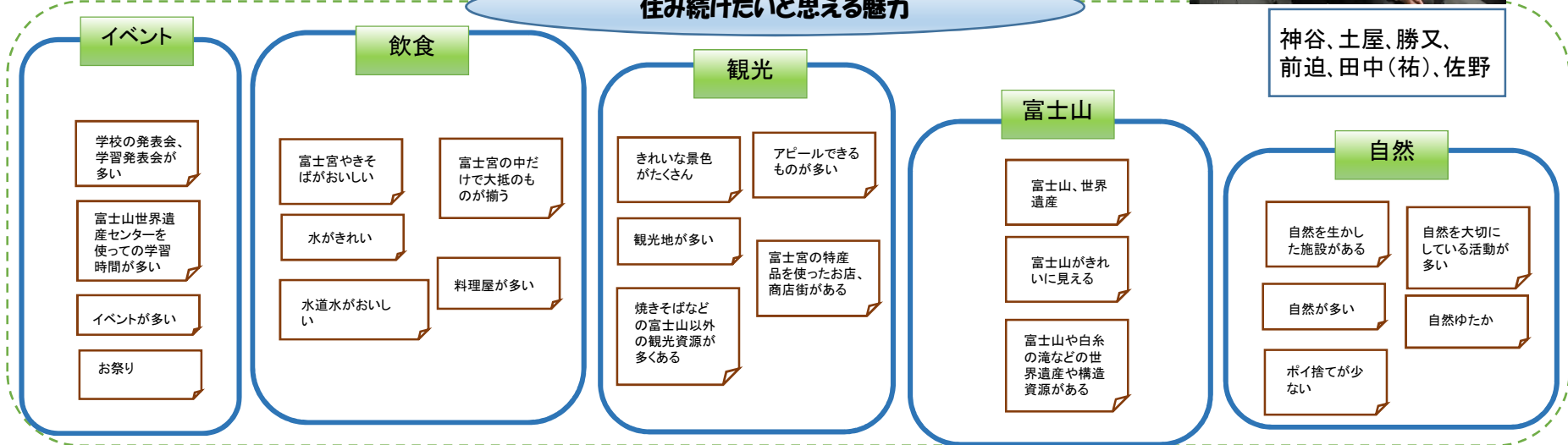
# (1) 市の魅力と課題、住み続けたいと思える魅力

## 「市の魅力と課題、住み続けたいと思える魅力」

グループ名  
焼きそば

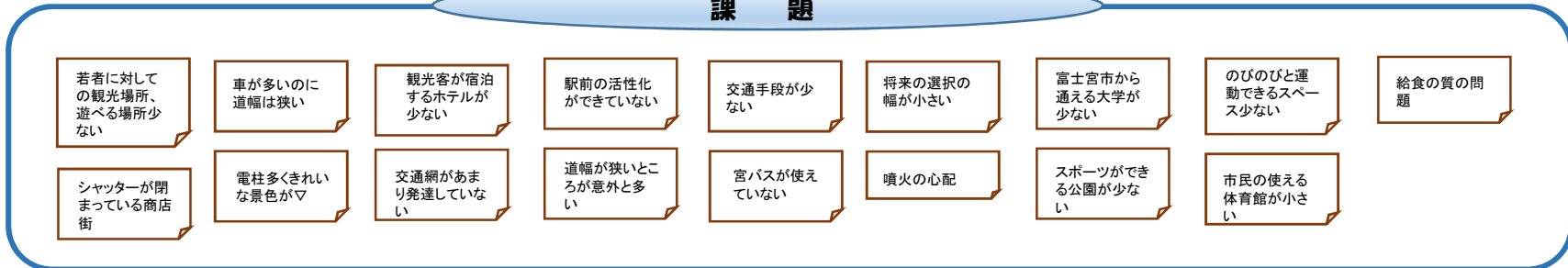


### 住み続けたいと思える魅力



神谷、土屋、勝又、前迫、田中(祐)、佐野

### 課題



# (1) 市の魅力と課題、住み続けたいと思える魅力

## 「市の魅力と課題、住み続けたいと思える魅力」

### グループ名 ライス



#### 住み続けたいと思える魅力

##### 観光

観光業が盛ん

観光業、特有のものを活かしている

神社がある

夏まつりが賑やか

##### 自然

世界遺産が身近にある

自然を生かしたまちづくり、畜産、水

富士山が自慢

お水がきれい

キャンプ場が多い

自然が豊か

キャンプが楽しい

##### 食品

富士宮焼きそばがおいしい

名物がおいしい

焼きそばがおいしい(2票)

養豚などの新しい産業

ニジマスがおいしい

お好み焼きがおいしい

##### 暮らしやすさ

宮バスが通っている

空気、自然

治安がいい

都会でも田舎でもなくいいところ

寒い都会でも田舎でもない

人が優しい

ちょうど良い交通の利便性

海外からの留学生が多い

充実した教育環境

干川、田中(仁)、田中(颯)、大津、村田、望月

#### 課題

地域格差、街なかと北部の暮らしやすさ

お店が少ない

遠くの地域にもコンビニ、スーパーを

宮バスの使い方がわからない

キャンプ場が知られていない

大宮地区ばかり発展している

バスが少ない

住んでいるところによって交通等大変

遊ぶところが少ない

宮バスの範囲を拡大させる

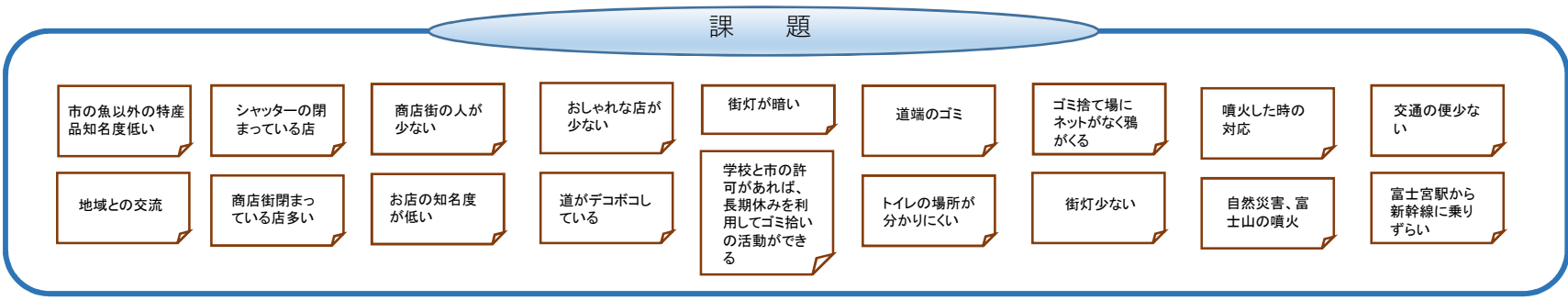
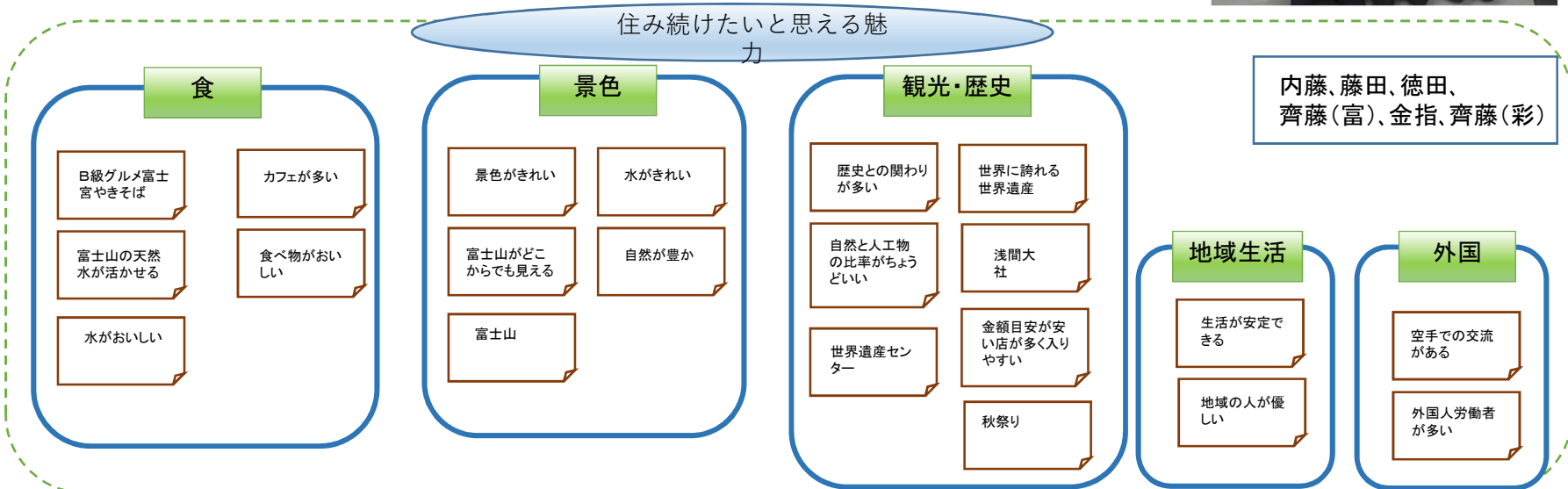
浅間大社前の横断歩道の時間が短い

海外からの方の母国の食料が少ない

# (1) 市の魅力と課題、住み続けたいと思える魅力

## 「市の魅力と課題、住み続けたいと思える魅力」

### グループ名 なまむぎ



## (2) 市の強みを生かした地域活性化

ワークショップ2日目では、市の総合戦略から選んだテーマ「**市の強みを生かした地域活性化**」について、現状・課題と将来に向けての提案を考えました。将来の姿、強みを生かす、住み続けられるまちの視点から、提案と課題を整理し、最後に提言の方向性を示す「メッセージ」を作成しました。メッセージとこれに向かう考え方を発表し、課長から講評がありました。最後に全員が高校生会議に参加した感想や25年後の自分について1分間スピーチを行い、2日間のワークショップを終えました。

「市の強みを生かした地域活性化」メッセージ	提案、現状・課題についての主な意見のまとめ
<p>グループ名：焼きそば</p> <p><b>「市の強みはイベント、飲食、観光、富士山。これらが揃っている若者の住みやすい街に！」</b></p>	<p>提案、力を入れるべきこととして、市民が遊ぶことのできる活動場所、若者の将来、環境、交通、景観、イベントが論点となりました。若者や子供の遊べる場所、体育館や広場、大学や専門学校を増やし、若者の選択肢の幅が広がるような就職先の種類を増やすなどの意見が出されました。そのほかにも観光に来た人が住みたいと思うようにすることや、課題として道路や交通網の整備にも意見が出ています。小さい子どもを預ける場所、子育てのしやすい環境作りも課題に上げられました。</p>
<p>グループ名：ライス</p> <p><b>「若い世代が活躍できる魅力を発信、住んで良し、訪れて良し＝広報・観光の拡大と地域格差の解消を」</b></p>	<p>提案と課題を「商業、交通、広報、仕事」の視点からまとめました。商業や交通問題については地域格差が大きいことを指摘し、空き店舗や空き家の活用、移住・定住の促進、宮バス等を活用した交通利便の向上等が提案されました。また、「高校生による広報ふじのみや」等で観光や特産物、歴史等を広めよう、商業施設の充実で雇用を生み出す、高校生、若者の活動の場を広げる提案が多く出されました。</p>
<p>グループ名：なまむぎ</p> <p><b>「知名度、交流、場所づくり、宣伝＝富士宮市民の意識を変えて知名度をあげる」</b></p>	<p>サブメッセージも付けられています。空き店舗やシャッター商店街の多いことに問題意識を持ち、市民が関心を示していないのでは、と考えました。また、特産品が多くあるのに知名度も低いことなどを一体的に解決したいと提案しています。市民が市のことを知ること、宣伝、イベントスペースやゲストハウスへの転用など空き店舗の活用から人の交流や特産品、移住定住などへの展開を提案しています。</p>
<p>メッセージの発表の後の杉浦企画戦略課長の講評では、各グループについてコメントをいただきました。高校生による広報など魅力の発信と市政への参画、生き方の選択肢を広げるための工夫の重要性、市民自身が市をもっと知る必要など、おとなの目線だけでは不足している気づきや提案に対してのお礼が述べられました。</p>	



## (2) 市の強みを生かした地域活性化

私たちの  
メッセージ

「市の強みはイベント、飲食、観光、富士山。  
これらが揃っている若者の住みやすい街に！」

グループ名  
焼きそば

### 提案:力を入れること

#### 遊べる活動場所

若者や子どもの遊べる場所に

多く目の公園や広場を作る

市外からも来たくなるような公園、広場

休日に市民が使える公園、体育館を作食

広いスペース、遊具がある公水

体育館の数を増やす

#### 若者の将来

大学や専門学校を増やす

進学や就職しやすいよう交通を発達させる

富士宮での就職先の種類を増やす

若者の選択肢の幅が広がるよう

#### 環境

観光に来た人がこの町に住みたいと思うように

歩道が狭く危ないところ、ある程度の広さに

危ない場所を把握し改善

水自転車専用道路を作る

#### 交通

宮バスの停車位置をわかりやすいところにする

宮バスの利用の仕方を分かりやすく

遊べる場所に宮バスが来るように

宮バスを宣伝し、利用してもらう

宮バスの宣伝を強める

#### 景観

電柱を地下に

景色と特産物を一緒に楽しめるように

良い景色をSNSで発信、様々な人に知ってもらう

景観をよくするために市民を巻き込むイベントを

シャッターに絵を描く

#### イベント

スポーツ教室の開催

地域の人みんなが参加できるイベント

自由に市民が描けるイベントにする

イベントの取組の情報発信

### 現状と課題

#### 景観

景色を活かせる場所が少ない、富士山世界遺産センター

#### 子育て

小さい子どもを預ける施設を増やす

子育てのしやすい環境

#### 交通

電車の本数が少ない

地域によって交通量の差が激しい

宮バスの利用者を増やす

渋滞が多いところもある

#### その他

市民全員で取り組みたい

# ワークシートのまとめ (2) 市の強みを生かした地域活性化

私たちの  
メッセージ

「若い世代が活躍できる魅力を発信、  
住んで良し、訪れて良し＝  
広報・観光の拡大と地域格差の解消を」

グループ名  
ライス

## 提案:力を入れること

### 商業

- 空地、空家の活用
- 小中学校の林間学校を応援することで、将来移住・定住をねらう
- 自然を生かしたものづくり
- 自然を生かし家を建て、格安で売る
- コンビニの増加
- お店を増やす
- 自由なイベントを

### 交通

- 宮バスの活用
- 交通面での利便向上
- 宮バスの拡大
- 街灯を増やす
- バスの時間

### 広報

- 中心部以外の観光マップを作る
- 子どもに特産品を知ってもらう
- 歴史の地図を作る
- 特産物を広める
- 高校生による広報ふじのみや
- お富士宮の紹介ムービーを作る
- 特産品の広報
- 自分たちで調べ広報等で発信
- 景観を整える
- 特産品等を高齢者等世代を特定してリノベーションする
- 歴史を広める
- イルミネーションを作る

### 仕事

- 企業を呼ぶ、職場を増やす
- 商業施設を充実

## 現状と課題

### 商業

- 地域格差が大きい、日常で使える施設の有無
- 使っていないところが多くある
- お店が少ない
- 空家、空地が多い

### 交通

- 地域格差が大きい、交通面、商業面小
- 交通の手段(バス)
- 交通の利用が少ない
- 地域によって明るさが違う

### 広報

- 知られていない魅力がある
- 市がやっていることを知らない
- 発信力が小さい
- 市の活動等が知られていない
- 高校生の活動が感じられない

### 仕事

- 雇用が少ない
- 仕事がない
- 入ってくる人と出ていく人の量の差

私たちの  
メッセージ

「知名度、交流、場所づくり、宣伝＝  
富士宮市民の意識を変えて知名度をあげる」

グループ名  
なまむぎ

まずは、市の人々が市を知ることから。アピール方法を工夫して人伝えに。マップやHPなどを活用する。市の人々の交流が少ない。市を活性化させる上で同じ目的を持っている人が集まることができる場をつくる。老若男女が楽しみながら富士宮をアピールできる場所がない！商店街をリノベーション、イベントスペースやゲストハウス等を作る。

提案;力を入れること

宣伝

- マップと一緒にクーポンを配る
- 歴史をアピール、年配者寄せ
- 空き店舗をホームページで紹介、安く貸し出す
- 世界遺産センターや店に貸し出せる歴史本を置く
- 空き店舗を安く貸し出す、市のサポート
- 広告を電柱などに

人が集まる場所作り

- フリーマーケット等市内の人が交流できるイベント
- 秋祭りなど祭りの時に商店街を使う
- 広い場所にイベントスペースを作る
- 専門店を増やす
- ゲストハウスを作る
- リモートワークができる場所！！
- 店を商店街に集める

交流

- 店を始めたい人同士の場をつくる
- ホームページに店を始めたい人専用のページを作る

知名度

- 広報で店の宣伝をする
- マップで子ども同士、親を誘う、知名度が上がる
- 富士宮にしかないような商品作り
- 大げさにアピールしてみる、ネットなど
- 学生に富士宮のマップを配る

その他

- 住んでいる人の意識を変える
- 市が支える

現状と課題

知名度

- 特産品の知名度が低い、ミジマス、やきそば、その他？
- 有名なものが少ない
- 市内の人が富士宮を知らない
- 富士宮に来る目的が少ない
- 市民が富士宮の店を知らない
- 聞かれてもお勧めできるところが少ない
- 知名度が低い

活気

- 観光客の少なさ
- 人が歩いていない
- 活気がない
- 遊ぶ場所が少ない
- シャッター街

宣伝

- 歴史が目立っていない
- ネットを上手に使えていない、知らない仕

その他

- 自然が汚い
- 木が生えっぱなし、切りっぱなし

### Ⅲ 参加者の声 (アンケートより 1)

ワークショップ終了後に、参加者全員からアンケートをいただきました。「市の取組への理解は深まったか？」「提案や意見はワークショップの中で反映されたか？」「今後も市の取組や計画に関わってみたいと思うか？」の項目では回答者全員が「はい」と回答しました。「もっと理解を深めたい市の取組はあったか」については15名が「はい」と回答しました。以下は、回答者全員の自由記述から意見を紹介します。

#### このワークショップに参加したご意見やご感想、ご要望を教えてください

同世代の人と会議をする機会は初めてだった。富士宮には様々な魅力があり、素晴らしい市だなと実感した。今回話しあったことを自分で止めてはもったいないので、家族や学校で発信したいと思った。

色々な高校と交流しながら、富士宮市について話し合うのはよいことだと思った。もう少し時間があれば急がずに話しができると思った。

自分とは違う視点で富士宮市の魅力や課題が出てきて、「確かにな」と思った。このような機会が無ければ感じなかったのも、とてもよかった。ぜひシャッター街を活用できればいいなと思った。

初めての人とグループワークを行うコミュニケーション能力や、今住んでいる地域について考えることができた。また、富士宮市の力になれるよう頑張りたい。

市についての意見を深められてよかった。普段思っていることでも、それを改善しようとする、なかなかうまくいかないと思った。

今まで富士宮市について考えることがなかなか無く、新しい発見ができてよかった。同世代の人たちとのコミュニケーション等を学び、これから生かせる点がとても多くあった。

あまり話しあいをしなくても成り立つもので、ブレインストーミングで意見を出し意見を言ったらそれについていくので、少し余裕が持てて話し合わない前に進まないような感じになると意見が深まると思った。

自分にはない視点から意見を聞くことができ、個人的にも全体的にも充実した議論ができた。各学校でも機会があればよいと思った。自分が思っているよりも魅力や課題があり、新たな市の一面を知ることができた。

知らない人と自由な会議をするのは緊張したが、みんなで協力して話も盛り上がってよかった。自分が知らないことがはっきりすると富士宮に対する興味がわくので、このような機会はもっとあってよいと思った。

## 参加者の声 (アンケートより 2)

### このワークショップに参加したご意見やご感想、ご要望を教えてください

高校生による「広報ふじのみや」をやりたい。高校生が主体となって企画、運営をできる環境を整えてほしい。高校生と市の方が話しあい、若者の意見を実際に実現できるかどうか考える場があったらよいなと思った。

日常の中で当たり前だったことが、この会議に参加したことでとても大きな魅力だと気づいた。市民みんなが、この当たり前が大きな魅力だと気づくことができれば、市民の意識が変わり、より良い市になると思った。

普段になにげなく過ごしている富士宮市のことを、ここまで考えたことがなかったので、本当に自分の将来のためにも良い機会になった。

高校生議員としても市の取組に参加した。そこでは話すことを事前に考えてあったので大丈夫だったが、その場で考えて話すことは苦手で心配だったが、いつもより考えて話すことができて良かった。

同世代の人と富士宮について話すことは初めてで緊張した。グループの皆がいい人で、こちらを見て聞いてくれ拍手までしてくれ、優しくてよかった。富士宮は住みやすいので、市の外に出ても戻ってこれたらいいなと思った。

学校での学習とは違う本格的な会議の体験や、まだ知らないことを改めて考えるきっかけとなった。富士宮がこれからどう変わっていくかが楽しみ。ボランティアなど、地域の人と関わる機会があれば参加してみたい。

同世代の人と話して会議をする活動はなかなかないので、良い経験となった。知っているようで知らない富士宮市について、改めて理解を深めることができた。

ブレインストーミングを勉強に活用し、自分の目標、課題を明確にしたい。25年後の自分は不明確だったが、やってみたいこと、目指したいこと、理想ができた。進学で一度は市を出るだろうが戻ってきたい。

